

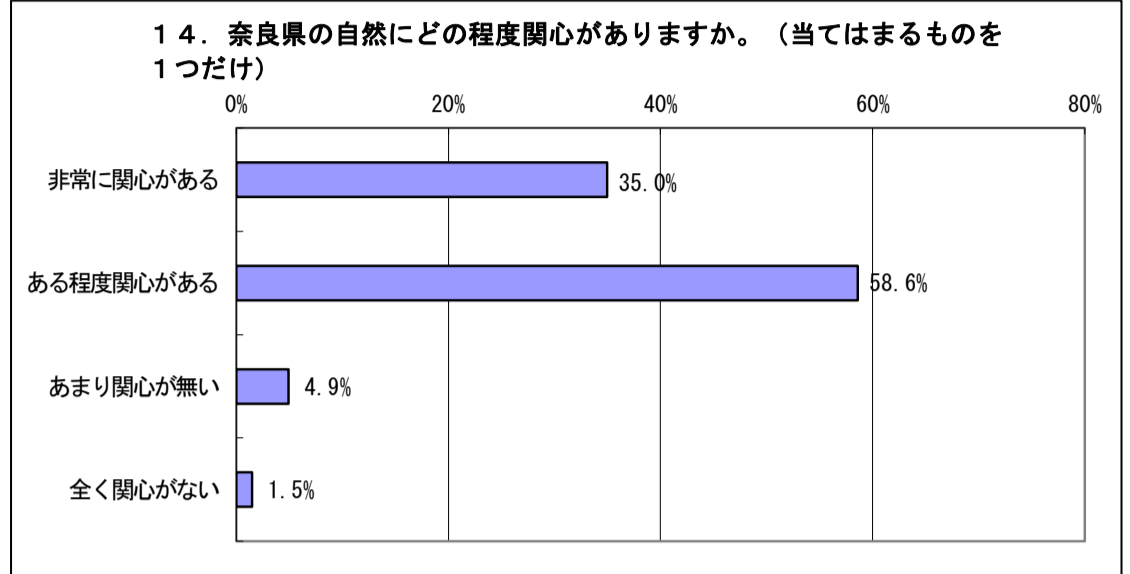
令和元年度「県民Webアンケート」 第5回 奈良の生物多様性について

○実施期間 2019/9/5～2019/9/11

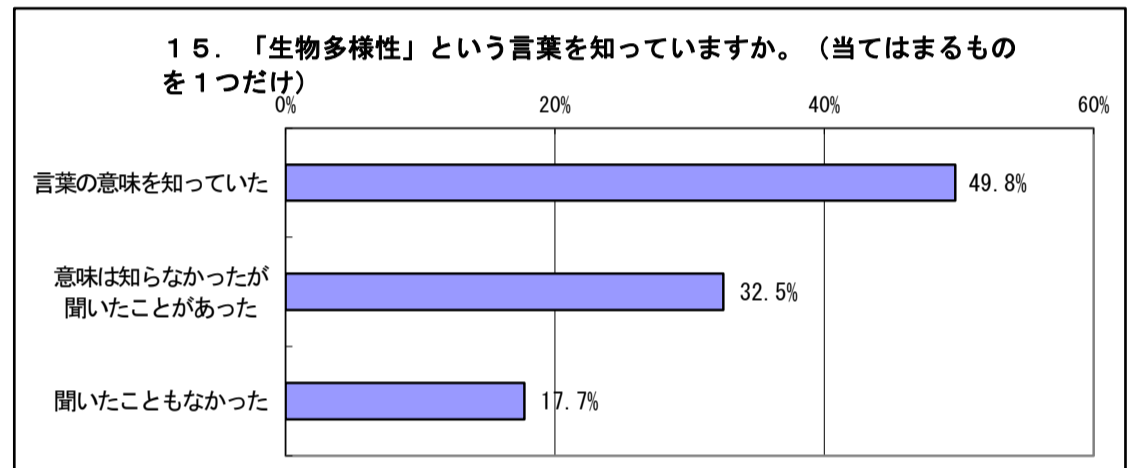
○アンケート会員数 237人 回収数 203件 (回収率 85.7%)

○平素より、県の自然環境の保全にご協力いただき、ありがとうございます。県では平成25年3月に生物多様性なら戦略を策定いたしました。戦略では、生物多様性への認知度を高めることを目標の1つに掲げております。そこで、皆様の生物多様性への意識や認知度について現状を把握するため昨年度と同様のアンケートを実施し、今年度の結果との比較検討をすることで、今後の取り組みに活用させていただきたいと考えております。ご多用のところ恐れ入りますが、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

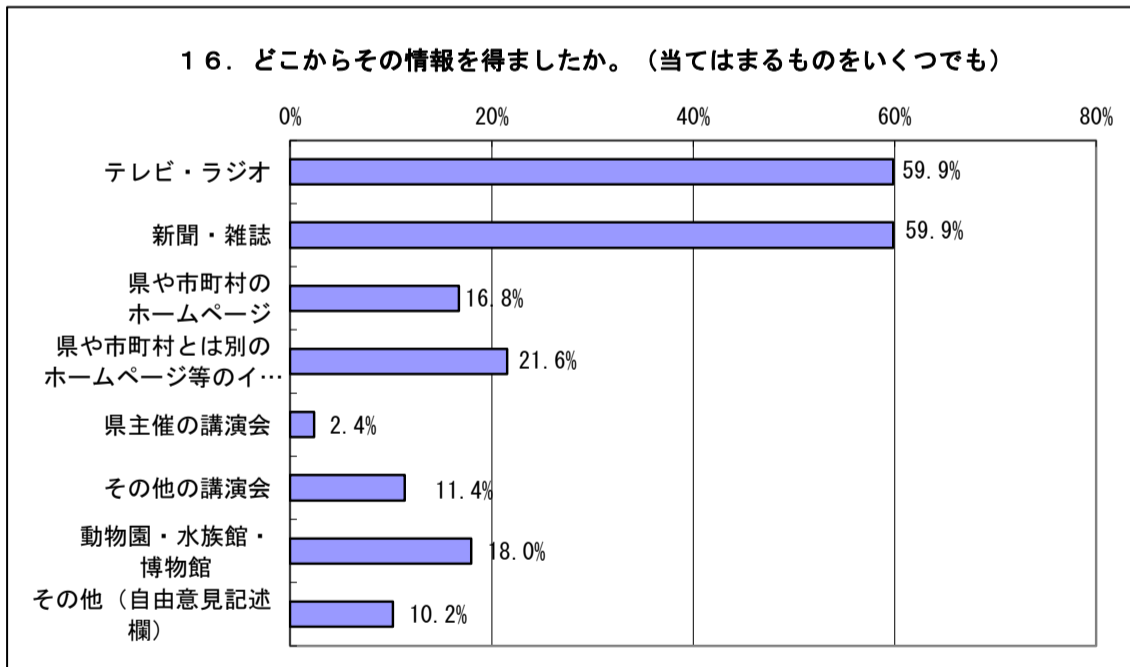
14. 奈良県の自然にどの程度関心がありますか。(当てはまるものを1つだけ)	回答数	回答対象者	比率
非常に関心がある	71	203	35.0%
ある程度関心がある	119		58.6%
あまり関心がない	10		4.9%
全く関心がない	3		1.5%
総計	203		100.0%



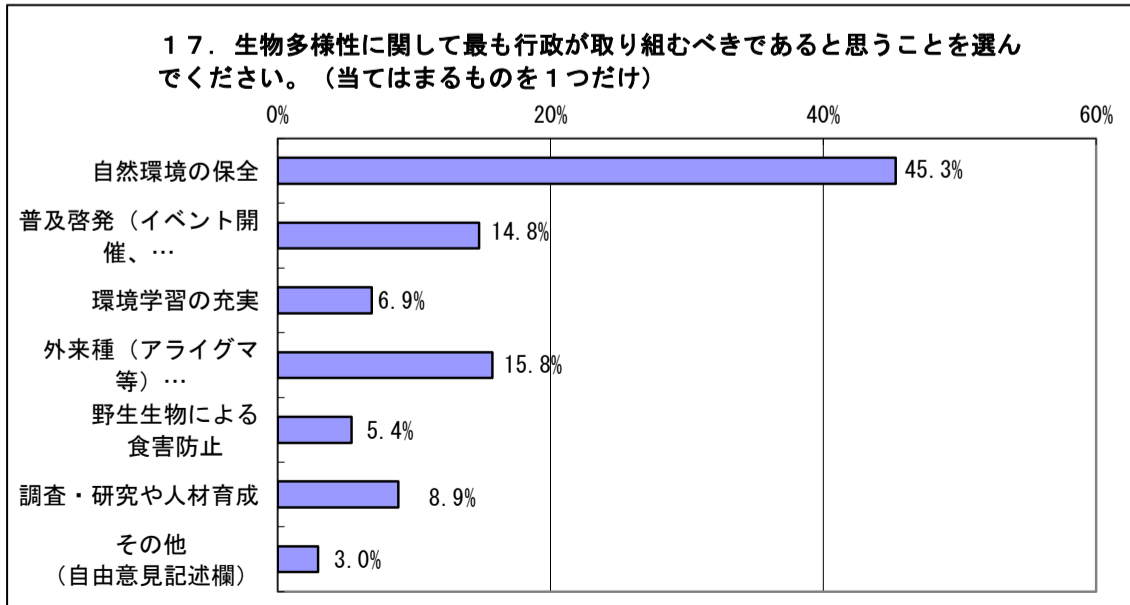
15. 「生物多様性」という言葉を知っていますか。(当てはまるものを1つだけ) (※生物多様性とは生きものや生態系の豊かさを表す言葉です。さまざまな生態系にさまざまな在来種が、さまざまな遺伝子を有して生きていることです。)	回答数	回答対象者	比率
言葉の意味を知っていた	101	203	49.8%
意味は知らなかったが聞いたことがあった	66		32.5%
聞いたこともなかった	36		17.7%
総計	203		100.0%



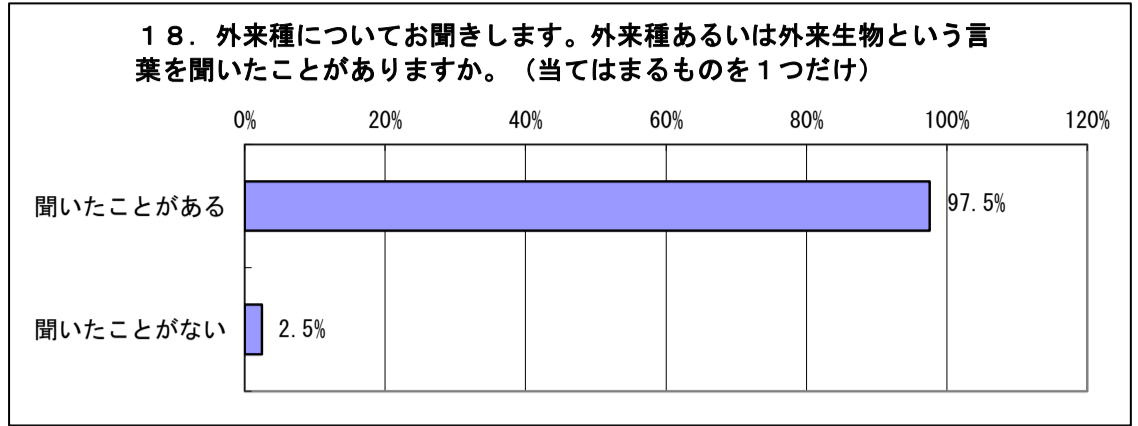
16. Q15で「言葉の意味を知っていた」、「意味は知らなかったが聞いたことがあった」を選択された方にお聞きします。 どこからその情報を得ましたか。(当てはまるものをいくつかでも)	回答数	回答対象者	比率
テレビ・ラジオ	100	167	59.9%
新聞・雑誌	100		59.9%
県や市町村のホームページ	28		16.8%
県や市町村とは別のホームページ等のインターネット情報	36		21.6%
県主催の講演会	4		2.4%
その他の講演会	19		11.4%
動物園・水族館・博物館	30		18.0%
その他(自由意見記述欄)	17		10.2%
総計	334		-



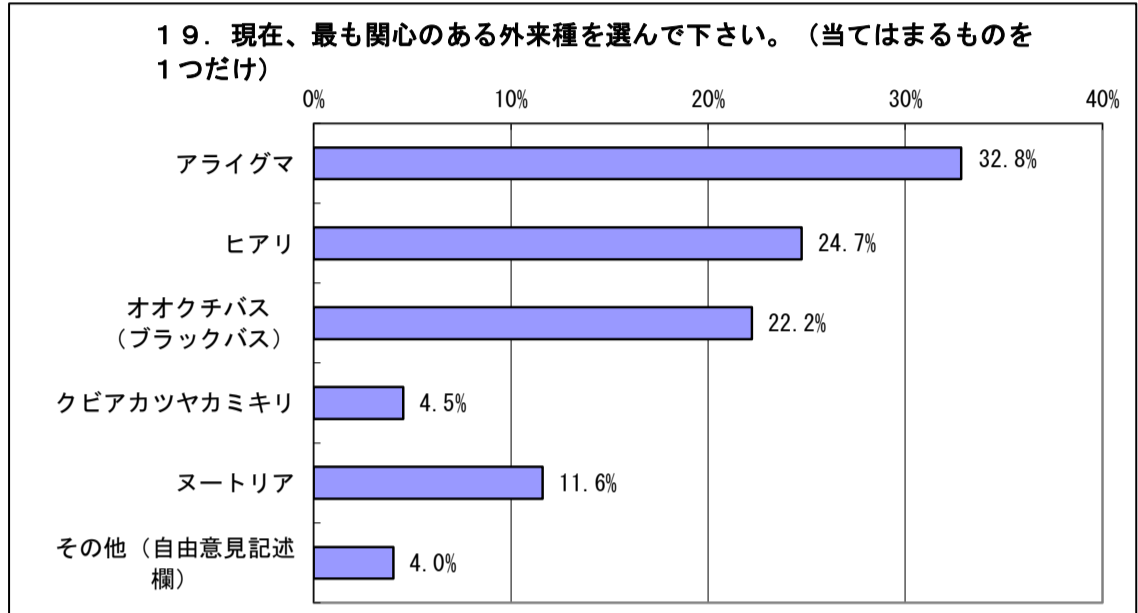
17. 生物多様性に関して最も行政が取り組むべきであると思うことを選んでください。(当てはまるものを1つだけ)	回答数	回答対象者	比率
自然環境の保全	92	203	45.3%
普及啓発(イベント開催、冊子の配布)	30		14.8%
環境学習の充実	14		6.9%
外来種(アライグマ等)の対策	32		15.8%
野生生物による食害防止	11		5.4%
調査・研究や人材育成	18		8.9%
その他(自由意見記述欄)	6		3.0%
総計	203		100.0%



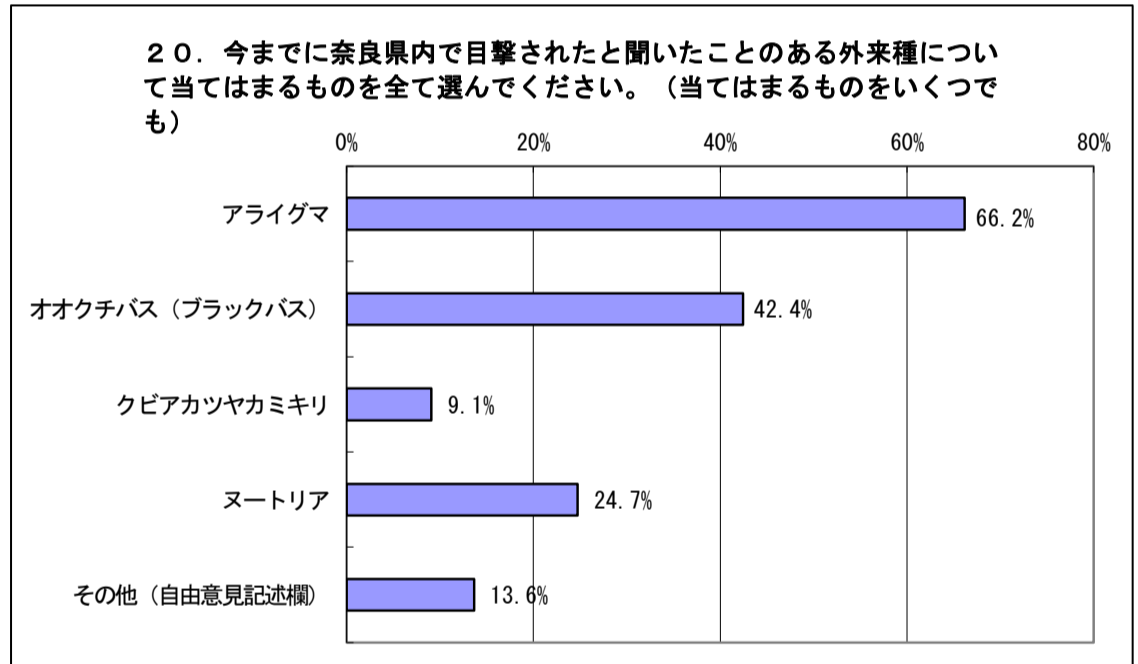
18. 外来種についてお聞きします。外来種あるいは外来生物という言葉聞いたことがありますか。(当てはまるものを1つだけ) ※外来種とはもともとその地域にいなかった生きもので、人間の活動によって他の地域から入ってきた生きものをいいます。	回答数	回答対象者	比率
聞いたことがある	198	203	97.5%
聞いたことがない	5		2.5%
総計	203		100.0%



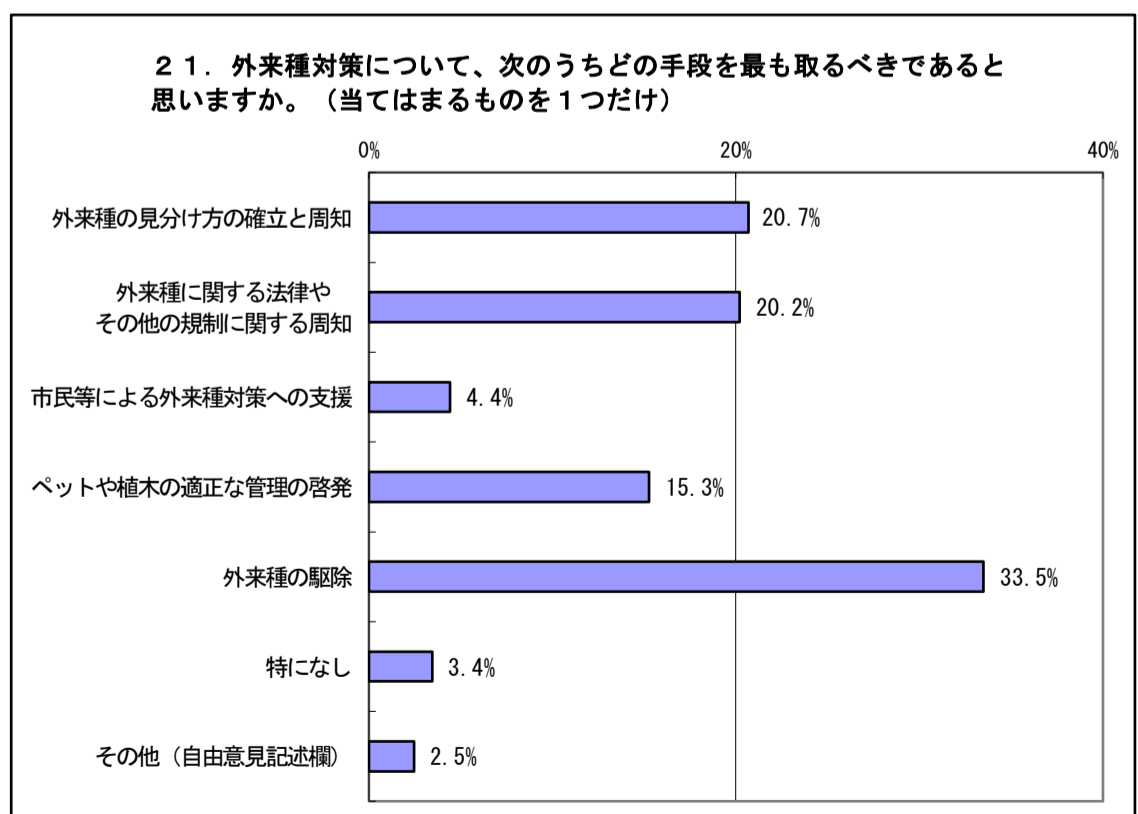
19. Q18で「聞いたことがある」を選択された方にお聞きします。現在、最も関心のある外来種を選んで下さい。(当てはまるものを1つだけ)	回答数	回答対象者	比率
アライグマ	65	198	32.8%
ヒアリ	49		24.7%
オオクチバス(ブラックバス)	44		22.2%
クビアカツヤカミキリ	9		4.5%
ヌートリア	23		11.6%
その他(自由意見記述欄)	8		4.0%
総計	198		100.0%



20. Q18で「聞いたことがある」を選択された方にお聞きします。今までに奈良県内で目撃されたことのある外来種について当てはまるものを全て選んでください。(当てはまるものをいくつでも)	回答数	回答対象者	比率
アライグマ	131	198	66.2%
オオクチバス(ブラックバス)	84		42.4%
クビアカツヤカミキリ	18		9.1%
ヌートリア	49		24.7%
その他(自由意見記述欄)	27		13.6%
総計	309		-

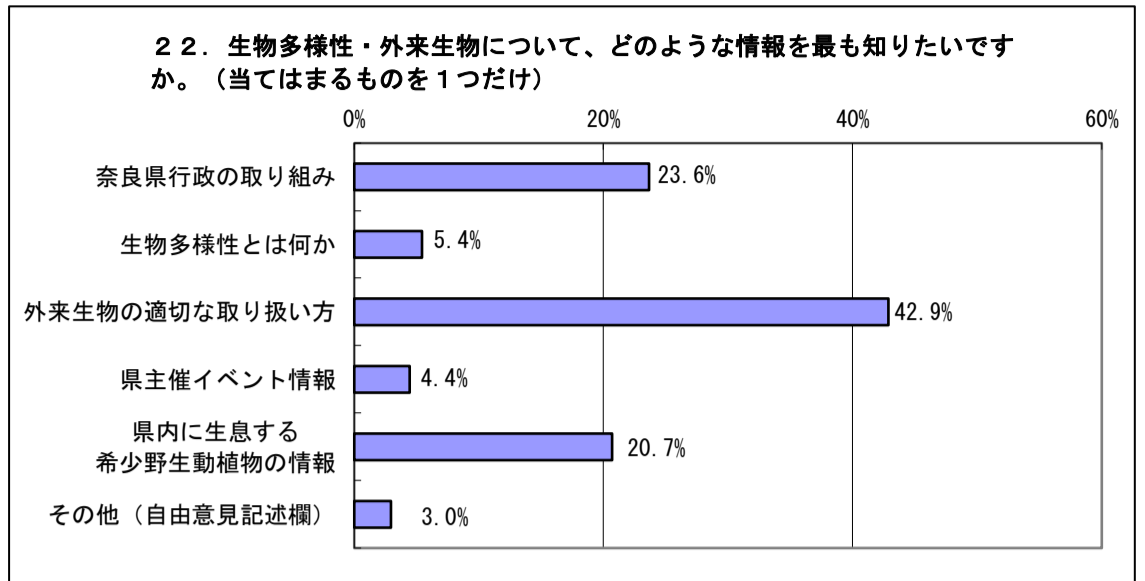


21. 外来種対策について、次のうちどの手段を最も取るべきだと思いますか。(当てはまるものを1つだけ) ※外来種の中には私たちの生活に欠かせない生きものもたくさんいますが、中にはもともとその地域にいるもの(在来種)を食べたり、在来種と交雑して雑種をつくってしまうものもあります。対策として、駆除の他に、飼っている外来種を野外に放たないようにする等の注意喚起も挙げられます。	回答数	回答対象者	比率
外来種の見分け方の確立と周知	42	203	20.7%
外来種に関する法律やその他の規制に関する周知	41		20.2%
市民等による外来種対策への支援	9		4.4%
ペットや植木の適正な管理の啓発	31		15.3%
外来種の駆除	68		33.5%
特になし	7		3.4%
その他(自由意見記述欄)	5		2.5%
総計	203		100.0%

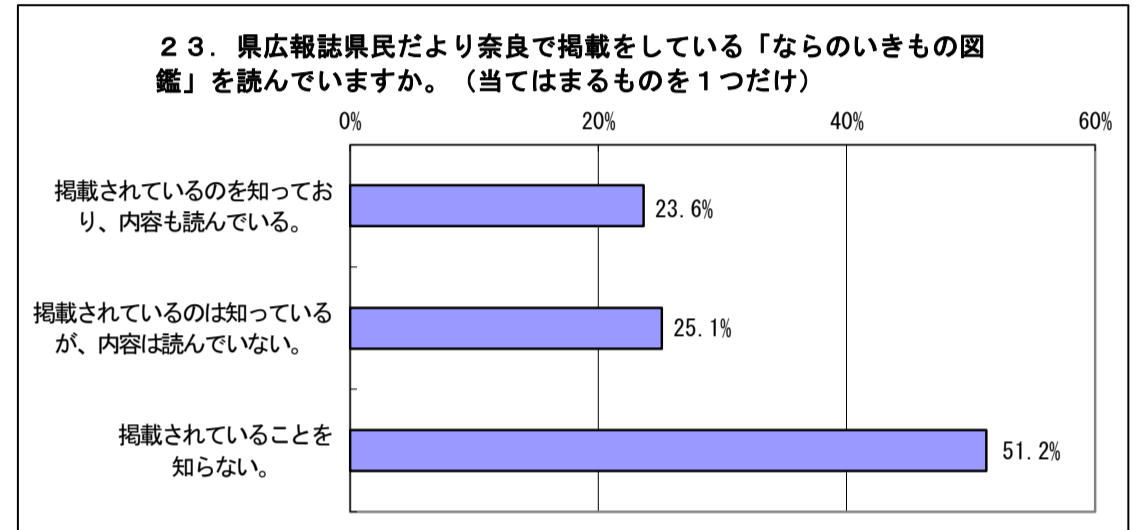


その他(自由意見記述欄) 一部抜粋
住民への啓発や駆除はどちらも優先順位の高い事柄だと思いますが、外来種対策に市民の力を取り入れれば大きく進むのではないかと思います(市民が外来種の動物を捕獲したり、樹木の生えている場所の情報を提供した時に何かご褒美がもらえるなど)。

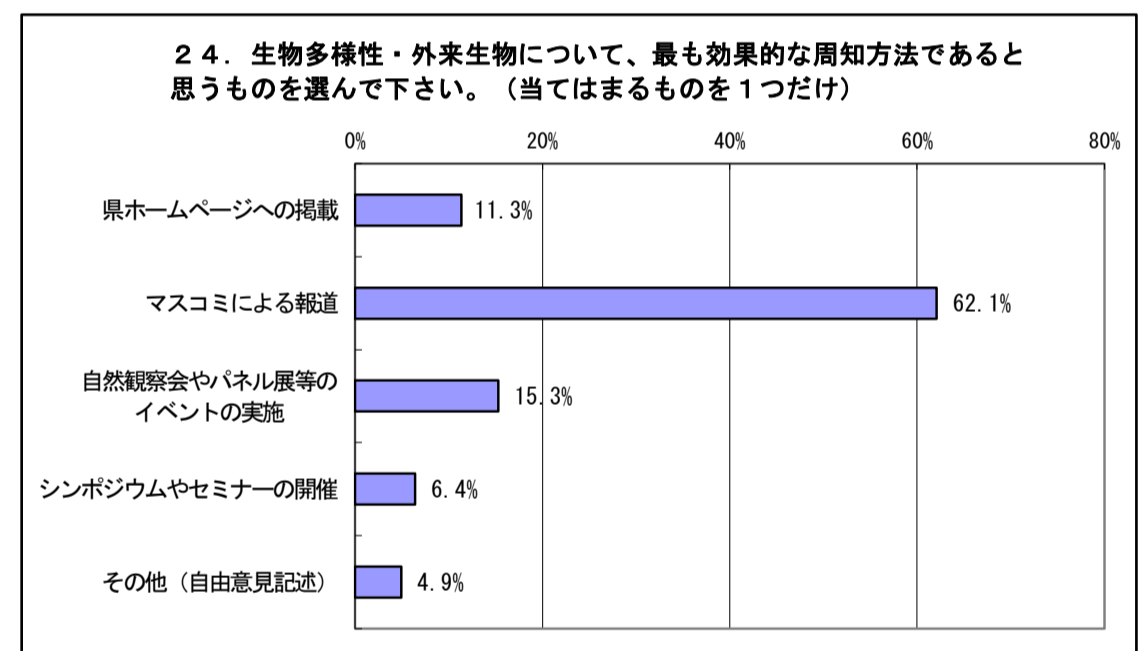
22. 生物多様性・外来生物について、どのような情報を最も知りたいですか。(当てはまるものを1つだけ)	回答数	回答対象者	比率
奈良県行政の取り組み	48	203	23.6%
生物多様性とは何か	11		5.4%
外来生物の適切な取り扱い方	87		42.9%
県主催イベント情報	9		4.4%
県内に生息する希少野生動植物の情報	42		20.7%
その他(自由意見記述欄)	6		3.0%
総計	203		100.0%



23. 県広報誌県民だより奈良で掲載をしている「ならのいきもの図鑑」を読んでいますか。(当てはまるものを1つだけ)	回答数	回答対象者	比率
※隔月連載で、ナゴヤダルマガエルやニッポンバラタナゴなどの奈良県に生息する希少な動植物を紹介しています。			
掲載されているのを知っており、内容も読んでいる。	48	203	23.6%
掲載されているのは知っているが、内容は読んでいない。	51		25.1%
掲載されていることを知らない。	104		51.2%
総計	203		100.0%



24. 生物多様性・外来生物について、最も効果的な周知方法であると思うものを選んで下さい。(当てはまるものを1つだけ)	回答数	回答対象者	比率
県ホームページへの掲載	23	203	11.3%
マスコミによる報道	126		62.1%
自然観察会やパネル展等のイベントの実施	31		15.3%
シンポジウムやセミナーの開催	13		6.4%
その他(自由意見記述)	10		4.9%
総計	203		100.0%



25. その他、奈良の生物多様性についてのご意見・ご要望があれば自由にご記入下さい。	回答数	回答対象者	比率
ご意見等	62	-	-

ご意見等 一部抜粋

春日山原生林など貴重な自然が身近に残されている。ありのままの自然を観察する事で、それがいかに大切なことか理解してもらおう機会を作る必要がある。子供から知ってほしい。

奈良は自然豊かであるが、住んでいる地域によって興味がある人とならない人の差が大きいと感じる。奈良の中でも関係のなさそうな人々にも、生物多様性が人にもたらす影響などを考えてもらうよう学校や自治会から働きかけてほしい。